

陳 情 第 8 号	平成24年2月23日受理
付 託 委 員 会	福祉常任委員会
件 名	介護保険料引き上げに反対する件
陳 情 要 旨	
<p>八千代市は平成24～26年度の介護保険料（1号被保険者）について、基準額月2,974円から556円増の3,530円、年額にして6,672円増額する最終案を固め、2月22日開催の介護保険事業運営協議会です承されました。</p> <p>「社会保障と税の一体改革」の名のもとに、私たち高齢者の暮らしは、相次ぐ年金引き下げ、医療費の窓口負担増、消費税増税計画などに脅かされています。それに追い打ちをかけるような今回の引き上げ案に、高齢者、市民から反対の声が高まっています。</p> <p>引き上げの理由として、市は、「介護報酬単価の引き上げ」「65歳以上の1号被保険者負担率改定（20%から21%に）」などを挙げています。しかし、介護保険事業の最大の問題は、国の財源負担率がわずか25%という低い水準にとどまっていることです。</p> <p>介護保険事業の充実とその財政改善に当たっては、市民に負担を強いるのではなく、国がその責任を果たすよう強く要望することが先決です。同時に、市独自としても必要な手だてを講ずるべきではないでしょうか。</p> <p>介護保険事業が始まってから4期12年、これまで他市と比較して低額の介護保険料を維持されてきた努力に敬意を払うとともに、市民の福祉増進に責任を負う八千代市議会として、下記項目の実現のため格段の御尽力をお願いしたく、陳情いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険事業への国の負担を現行の25%から少なくとも30%へ増額するよう国に強く要望すること。</li> <li>2. 「介護給付費準備基金」「財政安定化基金」の全額取り崩し、市独自の対策など必要な財源措置を講じ、介護保険料を引き上げないこと。</li> </ol>	